



Good Wood Communication!

かけがわの森から

国産材復権の兆し
管内の森林整備急務

他国の需要や原油高により外材が値上がり傾向

昨年から材木市況が変わってきています。スギ・ヒノキの需要が回復してきています。外材の値上がりにより、国産材が割安になっているためです。

外材値上がりの要因は、中国

やインドが旺盛に買い付けていること、ロシアの原木輸出税の上昇、また、原油高による輸送コスト高、ユーロ高や産地の伐採規制によるものです。

いよいよ国産材復権の兆しが

山を見つめる。(天野幸雄73歳)



見えてきました。こういった動きは、長い間の「木を出しても売れず」といった状況から脱する追い風となるでしょう。

しかし、手放して喜べるわけではありません。山側として、その需要に應える供給体制の整備が急務になっています。

人材を育成し、低コストで搬出するための機械システムを整備する。そしてそれらを駆使して森林を整備しながら、国産材の需要にこたえていかなくてはなりません。

管内の手の行き届いていない山を目の前にし、「やるべきことは沢山あるな」と身の引き締まる思いの職員一同です。

榛村純一 組合長

「旭日中綬章」受章祝賀会

昨年秋の叙勲で「旭日中綬章」を受章した榛村純一組合長の祝賀会が3月25日(日)に、掛川グランドホテルにて開催されました。発起人代表の柳沢伯夫厚生労働大臣をはじめ480人余りが出席し、盛大な祝賀会となりました。



(元秘書の新堀さんより花束を受け取る榛村組合長)

榛村組合長は永年の地方自治と様々な事業に対する関係者の協力に対してお礼を述べられました。また「森林と報徳と温暖化と」「生涯学習まちづくりは村格・都市格へ」と題して新たにまとめた二冊の著書を紹介するとともに、今後の決意を語られました。



旭日中綬章

勲章のひとつで国家または公共に対し、顕著な功労のあった方に贈られる。



「俺が山を好きなんじゃないよ

山が俺を好きなんだ」

写真の人紹介 天野幸雄(七十三歳)

これほどまでに掛川の山に精通している人は他にいないと言っても過言ではない。掛川の山を見つめ、愛で続けて半世紀を越える。

真摯な中にユーモアあふれるその人柄は若手職員からも慕われる。「天野さん、ほんと山が好きですね」と若手職員。「おじゃあすきじゃーないよ。山んおのりーすきだだえ」とこまの答える。

いたけ講習会開催されい

～いたけの「森産業」赤池氏を招いて～

好評だった昨年に続き、今年も1月31日に、森林組合主催で「しいたけ講習会」が開催されました。講師にはキノコの種駒を生産、販売している森産業株式会社の赤池氏を迎え、原木によるしいたけの栽培方法を教えていただきました。



原木となる樹種や樹齢、伐採の時期や原木に打つ種駒の間隔、また、仮伏せ、ほだ木の組み方等、初心者に分かりやすく、かつ経験者にも役立つ説明をいただきました。また屋外での実演も行われ、「参加費無料は信じられない！」とおっしゃる方がいらしたほど好評でした。

「かけがわの森から」カラー版 パソコンで見られるようになりました！！

インターネットで「[ブログ かけがわの森から](http://kakemori.seesaa.net/)」と検索するか
<http://kakemori.seesaa.net/> と打ち込んでみてくださいね。



森の力再生事業始まる

～萩岡地区にて31ha～

本年度より、県の新税「森づくり県民税」を活用した事業「森の力再生事業」が始まりました。掛川市森林組合も地域の林業事業体として、本事業に積極的に取り組んでいくこととなりました。

事業初年度ということもあり、事業計画にあたって、初めは試行錯誤しましたが、1月より事業に着手することができました。事業内容は以下のとおりです。

1. 環境伐 (31ha)

おおむね 40%の間伐。ところどころ、スギヒノキ不適地に広葉樹の生えるスペースをつくる。

2. 簡易木柵設置 (1,590m)

土砂流出を防ぐため、柵高約 20cm の木柵を設置。

3. 簡易作業路設置 (1,700m)

林内の作業に必要な歩道 (幅 50cm～1m) や、作業道 (幅 3m) を整備。

4. 既設作業道整備 (1,000m)

通行困難な林道萩岡黒俣線支線 (てんとう線) の路面整備および、排水路清掃。



今までの普通の間伐と少し違い、広葉樹を生やすという観点をもった事業です。来年度以降、所有者さんのバックアップの上で事業が推進できるかどうかは、本年度事業の出来栄にかかっています。

お問い合わせはこちらまで・・・

森の力再生事業 担当 尾崎

「おびさん」のはじまり

大尾山顕光寺は、真言宗醍醐派の修験道のお寺です。開創は大同2年(807年)。弘法大師「空海」が真言密教を究め、唐から帰朝した806年の翌年に当たります。この年、智頭上人という方が山頂にお堂を建て、千手観世音菩薩をお祀りしたのが顕光寺のはじまりです。

このことからすると大尾山は空海最澄の時代以前より、山岳信仰や民族宗教の形で信仰の対象になっていたようです。民族宗教が出发点ということで妻帯が許され、半農半僧の山伏(修験道)として1200年、子から子へ受け継がれて私で38代目です。(写真上:樹齢千年鳥居スギの雪化粧)



栄枯盛衰

1200年の間には色々なことがあったと思います。江戸時代には掛川城主の祈禱所となり、俸禄を頂いていたこともあります。また江戸深川へ出張して御開扉を開催したこともありました。一番の危機は明治初年の廃仏毀釈「神仏分離令」で廃寺寸前に追い込まれたことでした。

(写真左:境内に咲くハナカイドウ)



(写真下:原野谷ダム湖に映る大尾山)

「子授け」の観音様

大尾山山頂(海拔661m)から東は伊豆半島、西は伊良湖岬を望み、人々の生活を見守ってきた観音様は特に「子授け」「子育て」「厄除け」「交通安全」等にご利益のある観音様として信仰されております。



原泉で山といえは「大尾山」。「おびさん」と呼ばれ親しまれるその山は、遠い昔から信仰の山として存在してきました。山頂には顕光寺があり、その歴史は実に千二百年といわれています。今回は顕光寺第三十八代住職でもある、大嶽専務に大尾山の信仰について伺いました。

信仰の山「大尾山」その歴史は大同二年より千二百年

“これいい!” 購買担当「落合」の

おすすめGOODS!

「プロが薦める チェーンソー」

伐採のシーズンもひと段落。今年使ったチェーンソーの調子はいかがでしたか?もう型が古くなって寿命かな?そろそろ買い替えかな?と思った方、ぜひご相談ください。

STHIL プロ用「MS200」 ¥88,000 (税込)

軽くてタフネス!

35cmのバー

35.2cc



STHIL プロ用「MS240」 ¥110,000 (税込)

タフ&パワフル!

40cmのバー

42.1cc



お値段手頃なセミプロ用もあります。

ひとこと 今年の冬は史上まれな暖かさでした。温暖化の影響か?地球のサイクルの一時なのか?あまり急な気象変化は不安です。しかしながら、この秋から冬に誕生した職員の赤ちゃんたち(尾崎家・舟津家・吉野家)にとっては、ちょっぴりありがたい暖冬でした。皆様のご意見等お寄せください。連絡は下記まで!



掛川市森林組合

掛川市丹間48番地

E-mail kakemori@vc.tnc.ne.jp

TEL 0537-25-2111 FAX 0537-25-2113



吉野家「紘平くん」



舟津家「美和ちゃん」

チェーンソー目立て講習会の開催

「研いでも研いでも刃が切れない」「刃の研ぎ方があまりよく分からない」そんな方のために、チェーンソー目立て講習会を開催いたします。当日はチェーンソーを持参してください。

日時 平成十九年六月二日(土)

午後一時三十分

場所 森林組合事務所

人数 先着二十名様

参加費 おひとり様 五百円

参加申し込みはこちらまで

→ 0537-25-2111 担当 長嶋